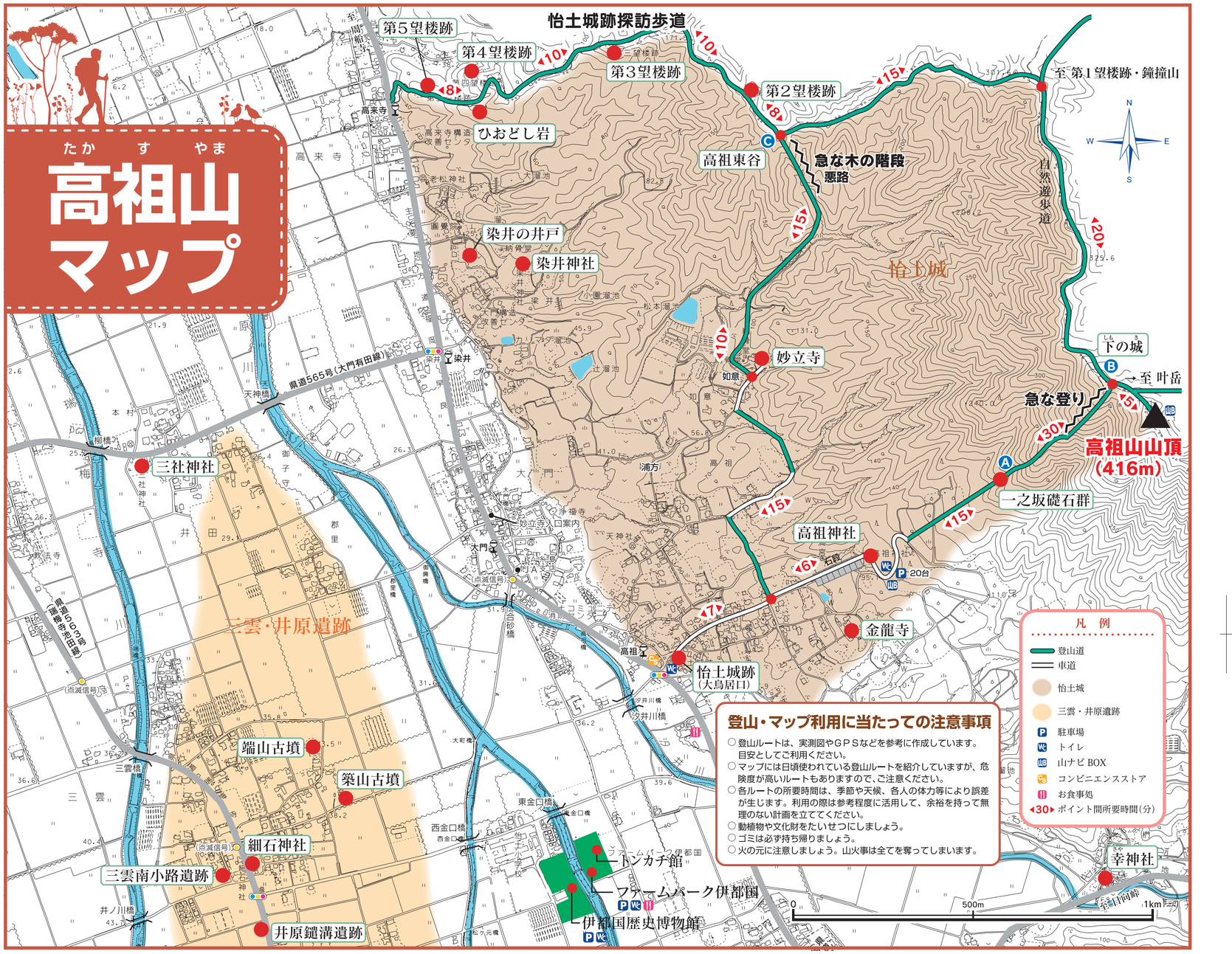
高祖山マップ



高祖山周辺の景勝地など

古代ロマンや伝説にあふれる高祖山周辺。
山歩きと併せて、歴史探訪や謎解きの醍醐味をお楽しみください。

■高祖神社本殿・拝殿（県指定文化財）



高祖神社の創建年代は定かではありませんが、古代の歴史書『日本三代実録』の元慶（がんぎょう）元年（877）9月25日の記録に「高嶺比咩神（たかそひめがみ）」に官位を授けるとあり、これが高祖神社のことであると考えられています。その後、中世には糸島の有力国人原田氏の保護を受けるようになり、数度にわたり社殿の建て替えが行われています。

記録によると、現在の本殿は天文（てんぶん）10年（1541）に原田隆種により再建され、寛文（かんぶん）2年（1662）に黒田光之（福岡藩3代藩主）により修理されたとされます。県内でも古い神社建築であり、貴重なものです。

拝殿は、細部の様式から18世紀前半頃の建築と考えられています。



■高祖神楽（県指定文化財）

今から500年以上前の応仁元年に、時の高祖城主原田種親が「京の能神楽」を郷土に伝えたものという伝承がありますが、実際の所は定かではありません。江戸時代までは旧怡土郡の神職の奉仕で舞われていましたが、明治になってからは高祖神社の氏子によって受け継がれています。

現在は毎年春（4月第4日曜13時から）と秋（10月第4土曜18時から）の年2回、高祖神社境内の神楽殿で奉納されています。面を付けずに神楽歌を唱えながら静かに舞う舞神楽と面を付けた数人の神楽師が神話物語を展開させていく面神楽の2種12番が奉納されています。

■金龍寺

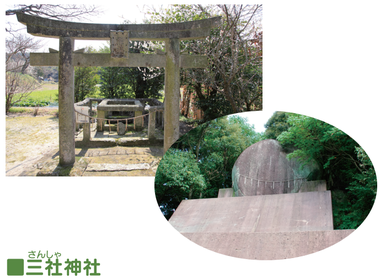
永正（えいしょう）5年（1508）原田興種が建立し、原田氏の菩提寺とした禅寺で、原田氏累代の墓があります。庭園は借景庭園で、ツツジの咲くころには高祖山の緑に映え、まさに名勝と呼ぶことができます。



■染井の井戸／ひおどし（緋縅）岩

大和朝廷の時代、九州の熊襲討伐中に敵の毒矢で亡くなった仲哀天皇の白生地の鎧を神功皇后が井戸に沈められるとその鎧が真っ赤に染まったという伝説があります。

怡土城跡探訪歩道の途中には鎧を干したという大岩「ひおどし（緋縅）岩」もあります。



■三社神社

井田の三社神社の境内内には2つの巨石があります。これはいずれも付近にあった支石墓の上石です。支石墓とは、数個の支石の上に上石をのせた墓で、朝鮮半島から伝えられたと考えられています。





井田用会支石墓上石（市指定文化財）

約2400年前（弥生時代早期～前期）のもの。355㎝×302㎝×約37㎝、重さ推定5tと国内最大級を誇り、また副葬品と見られる管玉22個が出土しています。

■妙立寺（高祖の如意輪観音さま）

妙立寺奥の観音菩薩堂に安置されている如意輪観音菩薩は、お参りすれば何でも叶うと伝えられています。



■平原遺跡（国指定史跡）

約1800年前（弥生時代後期～終末期）の伊都国王の墓。10m×14mの墳丘墓で周囲には溝を巡らせています。銅鏡40枚、鉄刀1本、ガラス製勾玉やメノウ製管玉などの玉類が多数出土し、銅鏡の中には直径46.5㎝の内行花文鏡が5枚ありました。これは国内最大の大きさです。

副葬品の中には武器はほとんどなく、ネックレスやブレスレットなどのアクセサリーが多いことから、この墓に葬られた人物は女性、すなわち女王ではないかと考えられます。

出土した副葬品は全て国宝に指定されており、伊都国歴史博物館に展示されています。



■曽根遺跡群（国指定史跡）

ワレ塚古墳／銭瓶塚古墳／狐塚古墳

約1500年前（古墳時代）のもの。ワレ塚（全長約42m）と銭瓶塚（全長約50m）は前方後円墳で、狐塚（直径約33m）は円墳です。ワレ塚と銭瓶塚では埴輪が出土しています。



ワレ塚古墳

怡土城跡探訪歩道

“永きに渡り糸島平野を見つめた”
そんな怡土城跡を探訪してください。

■怡土城跡（国指定史跡）

高祖山の西斜面一帯に、大宰府防衛の西の拠点として築かれた奈良時代の山城です。

『続日本紀』には、唐の争乱に備え、吉備真備（遣唐使から帰国後、大宰大弐）の指揮の下、756 年から約 12 年の歳月をかけて完成したことが記されています。

遺構として今も残るのは、土塁（高さ約 10m、幅約 7m、長さ約 2km）と 8 か所の望楼跡。土塁は、粘土質の土と砂質の土を交互に突き固める「版築工法」により、堅牢な構造となっています。

怡土城は、結局実戦を迎えることなく廃城（時期は不明）しましたが、後世、「高祖城」として再度利用されました。



高祖城跡　高祖城は、高祖山に築かれた中世の山城で、戦国時代（約500年前）には糸島の国人原田氏の重要な軍事拠点でした。山頂付近の上の城、下の城を中心に郭が配置され、石垣や空堀などが今も残っています。

ぐるっと探訪『怡土城跡探訪コース』

